

いつか花咲く日のために

平成24年2月15日
広島市立中島小学校
校長だより 第10号

子どもたちの心に種をまき、水を与え、光を与え、栄養を与え

あせらず、あわてず、あきらめず、花の咲く日を待ちたいと、

この題をつけました。



三つの心の鍵

「しない・負けない・許さない」

「いじめ」があると、楽しい毎日は送れなくなります。今日はその話をします。

相手が傷つく、嫌がる、あるいは自分がされて嫌だと思ふことを、わざと言ったり、したりするのは、間違いなく「いじめ」です。

また、最初は遊びでも、調子に乗りすぎて、相手が傷ついているのに、そのまま止めなければ、これも「いじめ」になります。

いじめは、しない。

私も子どもの頃、いじめられたことがあります。「いじめられていること」がはずかしいような気がして、しばらくの間、じっと我慢していました。でもこのままではいけないと思い「やめてよ」と大きな声でいい、その後先生に相談しました。これは、告げ口ではありません。ちくったのでもありません。

いじめに、負けない。

「いじめ」を見たり聞いたりした人は、知らないふりをしてはいけません。黙っていたら、今度はあなたがいじめられるかもしれません。

いじめを、許さない。

この三つが、楽しい毎日にする「鍵」を握っています。

いじめ、しない・負けない・許さない。

2月の学校朝会では、上のような話をしました。

した方・言った方は遊びでも、された方・言われた方には、忘れることのできない心の傷になることがあります。そのことを、まず、知って欲しいと思います。

なかじまっ子の感性から生まれる「なかじま 五七五」

今回の五七五の作者は、バラエティーに富んでいます。なかじまっ子・学生先生・詠み人知らず・先生方、一人一人が各々の視点から五七五を披露。

冬の寒さを感じながら……

さむい日に よい子があそぶ げんきな子 北野 瑠美
かぜがふき とてもさむいと おもったよ 宇都宮月花

冬ならではの情景が目に浮かびます。

ゆきがふり いちめんまっしろ きれいだな 田口谷絢音
鳥たちが 冬の空を 飛んでいる 下村 めぐ

こんな楽しみ方もいいですね。

ボーリング ゴロゴロゴロと たのしいな 松本健太郎

じっと線路の行方を見つめていたのでしょうか。

せんろは どんなどころまで つづくのか 山下 海斗

今年もエリザベト音楽大学の「学生先生」たちが来ました。子どもたちの学習活動の支援だけでなく、演奏披露、電話対応、そして、トイレ掃除にまで力を貸してくれました。最後は、温かい五七五を置き土産。

音楽は 笑顔になれる 魔法だよ 鈴木 里沙
アンコール とっても嬉しい 言葉だよ 小野 京子
みんなのね 優しさ笑顔 忘れません 長岡まどか
あいさつも 笑顔もステキ 中島小 宇津 優輔

「一人一人を大切に」より。

どの子にも よいところがあると 認め合う 詠み人知らず

先生方の今時五七五です。

ふゆやすみ こたつまいまい わがアダ名 井上 貴子
春待ちて いっぱい根を張れ 土の中 荒谷眞理子
大地ふみ 深呼吸する 冬の朝 花野 律子
気持ちよく 読んでほしいな すきな本 梶川 淳子
木枯らしも 元気な声で ふき飛ばす 田中 雪江
中島の みんなはばたけ 世界へと 大野 彩
かわいいな ひさびさに見る 子どもたち 大宮英美子